

いなみ野の風

特定医療法人社団仙酔会いなみ野病院
住 所 加古川市平岡町土山字川池423-2
TEL 078-941-1730
FAX 078-941-1734

ホームページアドレス <http://inamino-hp.senreikai.org>
メールアドレス inamino@senreikai.org

いなみ野病院 院内・院外広報誌

編集：いなみ野病院1M広報委員会

就任ご挨拶

医師 嘉悦 博

本年1月より、仙酔会いなみ野病院に医師として勤務することになりました。嘉悦博です。この紙面をお借りして、着任のご挨拶を申し上げます。

昭和49年に鳥取大学を卒業後、鳥取県倉吉市の民間病院を経て、昭和56年に神戸大学麻酔科に入局しました。その後、神戸大学付属病院、こども病院、姫路循環器病センターを経て、昭和62年より22年間は明石市にある兵庫県立がんセンターに勤務していました。麻酔科勤務からの転職を考えていた時に丁度、長谷川院長からお誘いをしていただき、いなみ野病院にお世話になることになりました。

術中、術後の急性期医療ばかりしていましたが、当初は介護療養型の仕事にとまどいましたが、現在、3か月程たつて何とかやっていけるような感じがしています。

いなみ野病院の第一印象は、外観、内部とも明るくきれいで、患者環境が良いことです。加えて、非常に手厚い介護医療が行われていると思えました。具体的には、体位変換などの介護、褥瘡予防の管理、積極的なリハビリ、細かい栄養管理、発熱に対応するすばやい対処などです。人工呼吸器装

着患者にも入浴させている看護努力には感心しました。この病院に褥瘡が少ないのもっともだと思っています。

高齢者の病気の難しい点も勉強になりました。敗血症ショック（感染が原因でショック状態になること）の症例を診察する機会がありました。喘息や心不全が症状として表に現れていました。しかし、感染が元になり、細菌感染によるショックなので、感染症を治療しないと喘息様症状や心不全は良くなりません。でも、高齢者は教科書に書かれてあるような症状に乏しい、あるいは訴えがないので、どこが原因の感染症なのか判断がたいのです。あるいは、2つの感染症が合併している場合もあります。このような症例をよく検討して、今後の日常診療に役立てていきたいと考えています。介護医療は体力、根気、やさしさの必要な所であると実感させられる毎日ですが、どうか職員の皆様はご自分の健康に留意されて、この大切な仕事を長く続けていっていただきたいと念じています。及ばずながら、私もその一端のお手伝いさせていたたく所存です。

特定医療法人社団仙酔会 いなみ野病院

基本理念

当院は、患者さんを尊重し、患者さんから信頼される安全で質の高い医療を提供することによって、地域の高齢者医療の向上に努めていきます

基本方針

- 1) 時代の進歩に即応した質の高い安全な医療を提供するために、日々研鑽と努力を重ねます
- 2) 高齢化社会のニーズに応じ、患者さんと家族の納得する、医療・療養・介護サービスを行います
- 3) 認知症疾患の医療・介護の充実をはかり、地域の高齢者医療・福祉に貢献します

事務部長

田端 十四男

前田前事務部長様の後任といたしまして4月1日からお世話になっていきます田端十四男です。どうぞよろしくお願い申し上げます。民間企業の化学工業で主に人事・総務・労務政策・教育・人材開発等に携わってまいりましたが、医療関係は当然ながら全く何もわかりません。患者としては怪我や検査で随分お世話になっていますが…。

先ず「遊びの履歴」です。生まれが長崎県五島市(福江島)で周囲は海ですから泳ぎ・釣釣り・素潜りはもちろんです。野球を長く続け、冬はスキー。肩を壊してからテニス(アキレス腱と被覆筋の断裂で今は休止中)とゴルフです。麻雀・競馬・パチンコ等一通りの賭けごとをしました

めました。スポーツが好きでやっていないのは空を飛ぶことでしょうか？

心がけとしては、仕事も遊びも楽しい方がいい！どうすれば楽しくなるかを一生懸命考えてきました。いつも楽しい訳ではありません。だからまたどうすれば楽しくなるか考えます。そのベースは、安全・安心・安定・信頼だと思えます。これがな

看護部長としての出発点

蒲木 秀美

今年、三月十六日に辞令を頂きました。昨年末よりお話しがありましたが、お引き受けする迄に色々不安、迷いがあり、なかなか決心がつかず、病院側に迷惑をおかけ致し

ました。長谷川院長、前田前事務部長、北井前看護部長の後押しがあり「ひとりではないよ」の一言に力づけられ、勇気が湧きました。私は、開院時から関わっているひとりとして、役割と責任を感じております。今後も皆さんを信じ、希望を持って邁進して行きます。

就任してまだ一ヶ月ですが、「一人」の問題に頭を痛めております。「物材については、辛い職員から紹介して頂いたり、退職された人が又、戻って来て下さり感謝しております。病院側も常に募集をかけて下さり、又、職員集めに力を入れて頂いております。皆さんもが入れば自分達

を基に各所属の目標を立てて取り組む。皆さんがその目標を共有し、同じ姿勢で取り組んで行つてほしいと願っています。私の看護観は、「心のこもったケアをする。常にこの思いを胸に刻みやってまいりました。臨床現場一筋三十年この道を歩んできました。この経験を生かし「患者様」にいいケアをする」「皆さんが仕事をしやすくする」「職員一人ひとりがやりがいを感じて生き生きと活動できる組織づくりに努力し、成果を出すこと」がトップマネージャーとしての私のビジョンです。皆さんのキラキラと輝いている笑顔をいつも見つけていきたいと思っています。いなみ野病院発展の為にほんまもんの医療を目指し、皆さんと一緒に頑張つて行きます。

重し、信頼と思いやりで繋げる看護・介護の実践」です。そして、その目

本館1階看護師長

藤森 和恵

3月16日、辞令をいただいて早一ヶ月が過ぎようとしています。

朝、病棟のラウンドが終ると、指示うけ、業務調整、各種伝票の整理など事務処理に追われる毎日、

管理業務とはこんなものかと思う今日この頃です。

私のモットーは「楽しく仕事をすること」です。病める患者様を相手に、楽しくなんてと思われるでしょうが、患者様の人生の終末期に関わり、その人生の一部に寄り添えることが出来たとき、またスタッフと共に看護、介護の達成感を味わうことが出来たとき、喜びを感じ、仕事が楽しいと思えました。

今後は、患者様の快適な

療養環境とスタッフが働きやすい職場環境を確保できるように、努めなければなりません。

管理業務が楽しいと思えるようになるには、何年かかるでしょうか。

昨年9月、10月、11月に2日間ずつ計6日間日本慢性期医療協会主催の第一期

慢性期医療認定講座を受講させていただきました、それぞれの第一人者といわれる先生方の熱い講義を聴くことが出来ました。その中で一番

感じたことは、患者様を取り巻く全ての医療人が顔を突き合わせて、医療にあたる。つまりチーム医療の重要性でした。病棟詰所の中で医師、看護師、介護士、栄養士、薬剤師、リハビリ療法士、MSWがそれぞれ

の専門性で患者様のことを

考え、意見を言い合い、患者様の価値観を尊重した医療に取り組むことがこれからの高齢者医療に求められています。

師長一年生ですが、認定講座で学んだことの実現を目指したいと思います。皆様よろしくご指導お願いします。

南二階病棟看護師長

福田 哲子

このたび、三月十六日より、南二階病棟にて病棟師

長という役割を任せられることになり、責任の重さをひしひしと感じながら勤務させていただいています。昨年度まで当院の現場にて、激変する高齢者医療・看護・介護の状況に必死でついて

いきながら勤務していました

が、今後は舵取りの立場になったことで更に率先していろいろと学ばなければいけないと思っております。

ところで、私は世間で俗にいう「アラフォー世代」になりまして。日本の人口で多い世代ゆえにお落着？言葉が生まれたのでしょうか、よくよく考えてみると

思うほど浮かれるような言葉ではないと思っています。この世代の親世代になるとこれまた最近生まれた言葉「アラカン（還）世代」か、その少し上の世代。これまた人口が多い世代です。実際、入院されてくる患者様、ご家族には実際に「アラフォー」「アラカン」世代が少しづつ増えており、これから確実に増えていくのは

来事が目の前に迫っており、

世の中でもはやされるほど現実には甘くないように思えます。

これからの私自身の立場での課題は、「自分自身に立場を置き換えて患者様・ご家族の立場になって考えながら看護・介護を提供させていただく」ことにあると考えています。

高齢者を取り巻く環境は厳しく、国の方針も今後どうなるか見当もつきません。私自身、高齢者医療に携わりながら、今後の国の高齢者対策の行方は常に気になることろです。そんな激動の時期にこの役割を担うことになったことに不安が大きく、まだ未熟者ですが、ご指導、ご鞭撻の程、宜しくお願い致します。

患者・家族アンケートについての集計結果報告

IMアンケート委員会

H20年8月、IMアンケート委員会では、患者様33名、全病棟入院患者様264名（H20年8月現在）のご家族の皆様にも毎年恒例のアンケート調査を実施致しました。

アンケートにご協力頂きました患者様、ご家族の皆様には厚くお礼申し上げます。

家族アンケートは172名のご家族より回答を頂きました。

家族アンケートでは、それぞれの質問に対し、5段階にて評価をお願い致しました。ケースワーカーの対応は「よくわかった」「だいたいわかった」で計97.6%、受付の対応では「非常に良い」「良い」で計79%という評価を頂きました。また病棟看護師・アシスターに対する評価では、看護師「非常に満足」「まあ満足」が74.4%、アシスター「非常に満足」「まあ満足」が計68%という評価を頂きました。しかし、看護師・アシスターともに「やや不満」「不満」が25%程度あり、厳しいご意見も聞かれ、質の高い看護・介護を提供するためには今後の課題

だと考えております。患者様の食事に対してのご家族の皆様は32%が「普通」と回答されておられました。患者様の病態との兼ね合いもあり、今後は充分な説明が必要な側面もあるかと思えます。病院全体の印象に対する質問では、概ね高評価を頂いていますが、まだまだ改善の余地もあり、今後も努力していかなければならないと感じております。

患者アンケートでは、質問の中で病棟職員の援助について評価をして頂きました。

概ね高評価を頂きましたが、今後も患者様に満足いただける援助を目指していかなければならないと思えます。

この他にも患者様、ご家族の皆様から様々な沢山のご意見を頂きました。これらの意見を各部署にフィードバックし、検討した改善策を4月より本館1階・南館1階ロビー掲示板にて掲示しておりますので是非ご覧下さい。

7月に恒例の七夕会を企画しています。多数のご参加、ご協力よろしく申し上げます。



平成21年4月8日（水）春麗の会をバラ園横の緑地広場で行いました。患者様89名、ご家族29名の方々に参加いただきました。開催内容としてレクリエーション委員による「さくらさくら」「春よ来い」の合唱、カクテル一座様（ボランティア）によるどじょうすくい・花笠踊り・南京玉すだれ等、素晴らしい演技を披露していただきました。1時間という短い時間でしたが、天気や桜の花にも恵まれ、楽しい時間を過ごしていただけたと思います。

春麗の会

2分間スピーチ



12月

事務部 橋田 裕生

안녕하십니까
안녕하세요
안녕하십니까
（おはようございます／こん
には／こんばんは）

私は、大学在学中に韓国（釜山市）にある東西大学校に留学していた経験があります。毎日がカルチャーショックの中、性別・国籍・上下関係に関係なく多くの方々と接することにより数多く学ぶことが出来ました。その中で、今回「接遇」として学べることを日本と韓国で比較したことをいくつか紹介したいと思いま

す。日本では、お酒の席で目上の人がいるからといって、背をむけて飲んだり、顔を横にむけて飲んだりすることがありませんが、韓国では、目上の方とお酒を飲む場合顔を横にむけて飲むのが礼儀となっています。友人・親しい間柄であればこのような事は行ないませんが、目上の方になるため注意が必要になりま

す。また、日本の大学では、学生が「〇〇先生」「〇〇教授」と呼ぶことがありますが、韓国では「〇〇先生様」「〇〇教授様」と呼びます。日本語に直訳すると違和感がありますが、「様」をつける所が儒教の国であり、目上の方を敬う韓国独特の文化ではないでしょうか。

現在の日本は核家族化が進み、祖父母と同居している家族が減ってきていることも関係していると思いますが、やはり目上の方を敬う気持ちが希薄になってきていると感じます。これからも、人生の大先輩に対する敬意を持ち、接遇マ

ナー向上に努めていかなければならないと考えています。※現在韓国旅行者が増えていることは、喜ばしいことと思えますが、旅行先にて犯罪の被害に巻き込まれる旅行者も少なくありません。最後に身を守るのは自分です！国内で外間わず、日々危機管理を！って行動することが、犯罪から事前に身を守る重要なポイントとなります。

2月

本館1階 藤本実枝子

おはようございます。先日は中学時代の同窓会に行ってきました。7クラス中120人程が集まったのですが、9教科の先生方が健在で全員出席されたのは驚きました。中でも女性の音楽の先生が75歳になられたものの昔の姿と全く変わっていないのに大変驚きました。秘訣は「朝一番の腹式呼吸の大笑い」だそうです。中学時代、音楽の授業の始まりには必ずさせられたの思い出しました。まずヒップアップの要領でおしり力を入れてお腹を引っ込める。引っ込めると自然と膨らませたくなる。それが腹式呼吸で難しく考えなくて良いそうです。そして鏡を見ながら口角を上げて大声で「あっはっは……」

「昨日の嫌な事を忘れて一日を笑顔でスタートさせると自分も周りの人も楽しく、若々しく過ごせるよ。あなたも頑張らなさい！」とエールを戴きました。患者様にも毎日元氣な笑顔で接したいと思えます。ありがとうございます。どうぞい



3月

本館2階 奥 八千代

接遇とは少し違うのですが、数年前、「やりがい」「人づく」「をテーマに、元 三木市民病院 多羅尾看護部長さんの研修に参加したときのことです。

「あなたほどどんな時にやりがいを感じる多ですか？」と質問され私を含め多くの人が、「患者さんから『ありがとう』と言われた時」とか、「先輩や師長さんに褒められた時」と答えました。

患者さんからお礼や感謝の言葉は、私たちの励みになるのは確かです。先輩や師長さんから褒められれば自信につながるし、そういうことが仕事を続けていくうえで大きな支えになるのは確かだと思います。

しかし、患者さんから感謝された上司から褒められたりすることが「やりがい」なりでしょうか？他人から褒められたり感謝されたりすることで、褒められなかつたり、感謝されなかつたりしたとき

が、がつかりたり、腹が立つたりします。私が「こんなに一生懸命しているのに『ありがとう』と言われなかったとか、師長さんが『苦勞さん』とも言わなかつたと言う不満に

なりません。不平や不満を感じている間は、看護師としての「満足」や「やりがい」は感じられません。

代償を求めず、自分が成長することで「満足」や「やりがい」を感じられる人ではないかならならないといけないことをこの研修で教えて頂きました。

そこで、看護師としての自己成長を私なりに考えてみる、専門職として働いているという自覚を持ち、小さな目標を決め、達成できるようにチャレンジすることではないかと思えます。正直、まだまだ自分の生活に比重が大きく、余裕がないので、「やりがい」まではみつけれれていません

が、私自身目標にしていることは、何か問題が起った場合でも、直接自分が関わっていません。職場の一員として、何が原因でおこったのか？今後の対策はどうしたらいいのか？など人ごとせず、自分の課題として取り組むように努め、大きな事故をおこさないという事です。

これからは、ゆっくりですが、家族や職場のみならず、ステップアップし、自分の納得できる生き方を追求していきたいと思えます。

大阪から加古川に引越してから、約1年が過ぎました。今年が去年と違うのは、家族が3人になったことでした。平成21年2月2日に、長男タケルが誕生しました。タケルという名前を付けたのは、私が小学校・中学校の頃のあだ名がタケルだったからです。穀(たけし)と読むのですが、たけし君↓たけ坊↓タケオと変化していき、いつの間にかタケルに定着し呼ばれているうちに、この3文字がとても心地よく感じ、いつか子供が生まれたらこの名前を付けてあげたいなど思うようになりました。カタカナにした理由は、

ああめのお店

事務部 村上 明日香

私の紹介するお店は、稲美町にある「シェルバン」というケーキ屋さんです。こじんまりとしたお店ですが、かわいいうえにケーキやお菓子がたくさんあります。

中でもオススメしたいのは『いなみロール』というロールケーキです。米粉(稲の実)を使った生地、生クリームと栗が入っており、シンプルな見た目ながらも、もちもちとした食感でおいしいです。

お土産にも最適です!

他にも季節のケーキなど、魅力的な商品がたくさんあるので、近くにお越しの際は、ぜひ寄ってみてください!

加古郡稲美町岡岡1-116-101

営業時間 10:00~19:00

休/水曜日

駐車場/5台

<http://www.cherubin.biz/>

TEL.079-492-7413

●●● 編集後記 ●●●

新たな年度が幕を明けました。年度変わりと言う事もあり出合い、別れと様々な事が起こる時期となり、当院にも1日から新入職員が入社しフレッシュ感を漂わせています。また、本誌の書面で紹介された様に体制の変化もありました。皆様方には今後も変わらぬご指導、ご鞭撻を節にお願い致します。

リレートーク

診療部
リハビリテーション課
唄 毅

またたけるのみこと) ゆかりの神社があるそうで何か縁をとても感じています。先日、無事1ヶ月検診が終わり、これから暖かくなっていくので、お宮参りや先輩に教えて貰った共進牧場に行こうかと計画しています。何分この辺りのことに関して、まだまだ知らないことが多いのでお薦めスポットとかあれば是非教えてください。

いなみ野病院 概要

診療科目	内科、リハビリテーション科		
病床種別	療養病床	290床	
	(医療保険)	1病棟	50床
	(介護保険)	4病棟	240床

診療報酬上の施設基準

医療保険

- 療養病棟入院基本料
- 療養病棟療養環境加算3
- 脳血管疾患等リハビリテーション(Ⅱ)
- 運動器リハビリテーション(Ⅰ)
- 入院時食事療養(Ⅰ) ・栄養管理実施加算
- 薬剤管理指導料

介護保険

- 病院療養型 I型
- 夜間勤務条件基準 減算型
- 職員の欠員による減算の状況 なし
- ユニットケア体制 対応不可
- 療養環境基準 基準型
- 医師の配置基準 基準
- 栄養管理の評価 栄養ケア・マネジメント体制あり
- 身体拘束廃止取組の有無 あり
- 特定診療費項目 薬剤管理指導
- リハビリテーション提供体制
- 理学療法Ⅰ・作業療法・言語聴覚療法・その他